

地図



西ノ島

赤ノ江

まちあるきマップ

0 50M 100M

赤ノ江の地名の由来は後醍醐天皇にあります。元弘の昔、隠岐に配流されていた後醍醐天皇は密かに同志の助けを得て脱出を決行。小向地区から小舟に乗って入り江を赤崎の鼻に向かって急いでおられた時、過ぎて笏（しゃく）を海に落とされました。それからこの地を笏の江と呼ぶようになり、後に赤崎の「赤」を入れて「赤ノ江」と書くようになったと伝えられています。

浦郷方面
→

細い道沿いに住宅が
並んでいます。
細道の先は行き止まり。

栽培漁業と岩ガキ養殖

赤ノ江から珍崎方面へ少し行ったところには、マダイやヒラメなどの栽培漁業を行っている栽培漁業センターがあります。そこで生まれた稚魚たちは、海上のイカダで大きく育つまで飼育され、隠岐島前の各地へ放流されます。また別のイカダではイワガキが養殖されています。実は西ノ島はイワガキ養殖発祥の地であり、隠岐のキレイな海で育ったイワガキは全国に出荷されています。

← 赤尾・鬼舞展望所、三度方面

階段入口に鳥居と狛犬

茂理神社までの
階段は120段!

開
もり
茂理神社

御輿庫

赤ノ江の住宅地の中に小高い山へと続く
階段があります。その山の上にある茂理神
社は、由緒を辿れば1300年以上にもなる
とか。
詳しくは裏面「まめちしき」へ!

赤ノ江谷川

昔ながらの石垣や
井戸も残る住宅地

お寺には
町の天然記念物
であるタブノキが
立っています!!

福萬寺 卍

銀杏の木

昔は赤尾山福萬寺といわれ、現在も寺の入口上に
「赤尾山」と書かれた木看板が掲げられています。
秋には銀杏が美しく色づくお寺です。

お墓まで続く
登り階段。

お墓の手前にある
鳥居が2つ並んだ
小さな神社。

開
青根神社

お墓

鳥居前は赤ノ江
地区を一望できる
隠れスポット!

珍崎方面
↓

赤ノ江漁港

防波堤の先
に小さな灯台



恵比寿神社と金比羅神社。
恵比寿様は漁業の神様。
金比羅様は航海安全の神様。
漁や釣りの前にはここで
大漁と安全祈願!!

珍崎に向かって
少し行ったところに、
後醍醐天皇が脱出されたとされる
「赤崎」という場所があります。
詳しくは裏面へ!